

イタリア ゼスプリがルビーレッドキウイフルーツの商業生産を承認

[FreshFruitPortal](#) 2025年3月20日

ゼスプリは、消費者の間での継続的な成功を受け、ルビーレッドキウイフルーツの生産をイタリアに拡大するとリリースで発表した。

ゼスプリのジェyson・テ・ブレイクCEOは、2025-26年度シーズンの生産者向けの最初のガイダンスを発表し、1箱当たりの力強いOGR(生産者収益)と栽培許可面積の範囲について概説した際、イタリアで追加される170ヘクタールは、ゼスプリの周年供給戦略の一環としてヨーロッパで赤肉品種を供給することで、ゼスプリブランドを継続的に強化する取り組みを支援するものであると述べた。(以下「」は同CEOの発言)

テ・ブレイクCEOはさらに、シーズン序盤の良好な生育条件が今シーズンの収穫の好調なスタートを支えており、現在、総収穫量は2億500万箱、すなわち73万8千トンを超えると予想されていると述べた。

「我々の業界は、シーズンのこの時期としてはこれまでにないほど多くの果実を出荷し、最初のチャーター船が無事に出航した。これは、迅速にスタートを切り、生産者に力強い収益を還元するために重要なことである。」

同CEOはまた、当初のガイダンスでは、今シーズンの果実のサイズと外国為替のポジションの改善も予想している一方、果実の品質が悪化した場合の品質コストの引当金、市場環境の軟化、世界的な地政学的不確実性の継続に起因する貿易の減少など、下振れリスクも考慮されていると付け加えた。

「ここ数週間でヨーロッパ、中国及び北米の取引先から寄せられたフィードバックは、ゼスプリキウイフルーツに対する強い需要があるというものであり、今後数週間でさらに多くの果実が市場に入荷するため、我々の営業販売チームは今シーズンの果実を販売しようと待ち構えている。」

ルビーレッドの成長

ルビーレッドキウイフルーツについて、同CEOは期待を込めて語った。「300万箱のニュージーランド産果実のほぼすべての梱包が完了している。今シーズンは、米国を含むいくつかの新しい市場で(ルビーレッドの)ベリーのような味が楽しめるようになった。」

イタリアでのルビーレッドキウイフルーツの商業的栽培は、2019年に生産者投票によって承認された、ニュージーランド国外で最大1千ヘクタールの新品種を植えるというゼスプリの既存の承認事項によってカバーされている。ゼスプリがこの割り当てを適用するのは今回が初めてである。

2025/26年度シーズンの指標の目安

区分(果実の種類)	2025/26 3月 生産者収益の目安 (1箱当たり)	2024/25 2月予測 (1箱当たり)	2025/26 3月 生産者収益の目安 (1ha 当たり)	2024/25 2月予測 (1ha 当たり)
ゼスプリグリーン	\$8.00 - \$9.50	\$8.10	\$86,000-\$103,000	\$86,987
ゼスプリ有機グリーン	\$10.50 - \$12.50	\$11.63	\$80,000-\$95,000	\$89,589
ゼスプリサンゴールドキウイフルーツ	\$11.00 - \$12.50	\$11.59	\$162,000-\$184,000	\$167,670
ゼスプリ有機サンゴールドキウイフルーツ	\$13.50 - \$15.50	\$14.93	\$147,000-\$169,000	\$153,543
ゼスプリグリーン 14	\$9.00-\$11.00	\$8.66	\$55,000-\$69,000	\$55,148
ゼスプリルビーレッドキウイフルーツ	\$14.50-\$16.50	\$16.66*	\$70,000-\$79,000	\$71,304

表中の\$はニュージーランドドル(1ニュージーランドドル=約86円)。*は収益が樹齢によって異なることの注釈(詳細省略)

出典: [ゼスプリ](#)